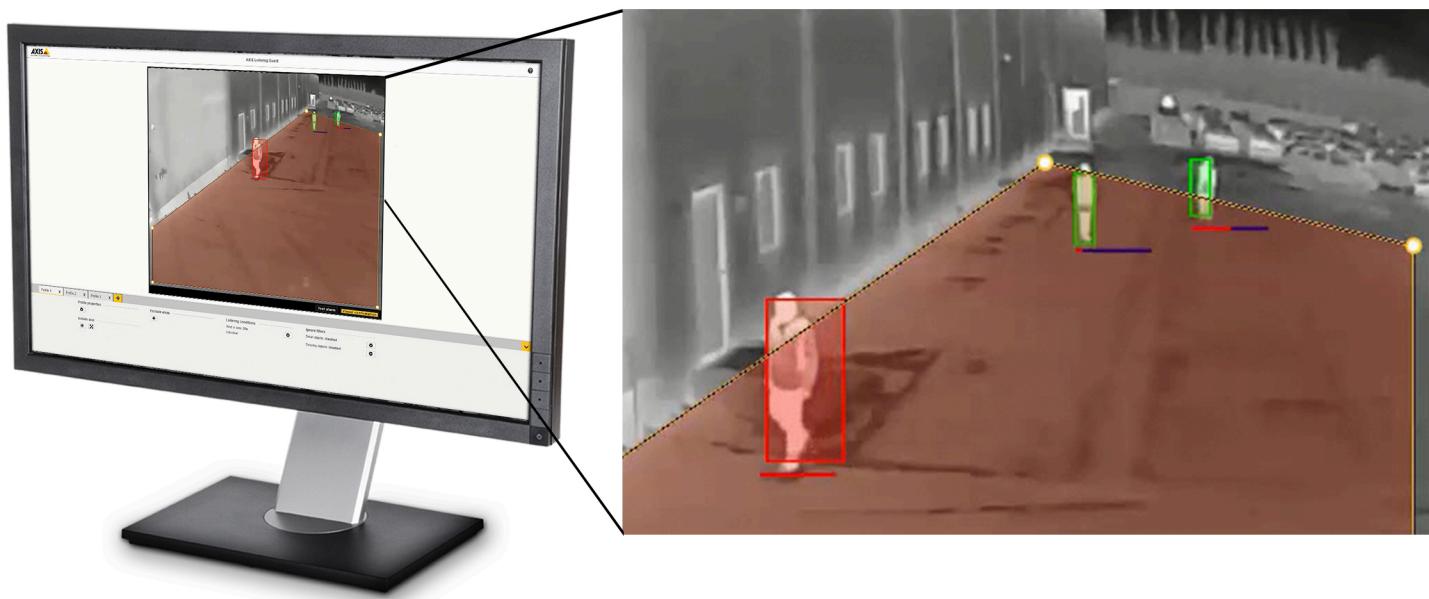


AXIS Loitering Guard

徘徊を検知する

AXIS Loitering Guardは人や車両などの移動する物体を追跡し、定義済みのエリア内にいる時間が長すぎた場合にアラームをトリガーします。特に営業時間後の、オフィスの駐車場、校庭、フェンス近くのエリアなどの準公共施設での徘徊を検知するのに最適です。破壊行為や侵入などの犯罪の防止に役立ちます。このアプリケーションは、さまざまな徘徊条件用に複数のプロファイルをサポートしています。除外範囲、フィルター、奥行きの設定は、誤報の低減に役立ちます。ライブまたは録画映像のアラームオーバーレイは、アラームをトリガーしている物体またはエリアをハイライトします。

- > 動きによるトリガーと時間ベースのトリガー
- > エッジベースのビデオ分析
- > 複数の条件とプロファイル
- > 奥行きの設定による誤報の低減
- > 境界ボックスアラームオーバーレイ



AXIS Loitering Guard

概要

代表的な使用事例

駐車場や校庭、フェンスで囲まれたエリアなど、交通量が少なく徘徊がセキュリティ上の問題となる一般的なエリア

対応デバイス

ファームウェア7.10以降を搭載したAxisビデオ製品。

コンピューティングプラットフォーム

Edge

設定

Webの設定には次のものが含まれます。

言語

英語、ドイツ語、フランス語、ポーランド語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語

機能

シナリオ

さまざまなシナリオに適応するように、複数のプロファイルを設定できます。

最大3つの同時プロファイルを持つマルチチャンネル製品を除く、すべてのカメラで最大10個のプロファイル。

プロファイルごとに1つの対象範囲と3つの除外範囲
(10角までの多角形)

映像による設定確認

小さな物体または揺らめいている物体フィルター
奥行きの設定

トリガー条件

プロファイルごとに1つの徘徊条件

個別: 定義済みのエリア内で、複数の移動する物体が検知されてからの時間を個別にトラッキング

グループ: 定義済みのエリア内で、何らかの移動する物体が検知されてからの時間をトラッキング

制限

豪雨や豪雪、低コントラストなどの条件により、検知精度が低下する場合があります。詳細については、axis.comでユーザーマニュアルを参照してください。
アラームオーバーレイを有効にしたビデオストリームの解像度は、幅1920ピクセルおよび現在のアスペクト比に応じた高さに制限されます。

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース

VAPIX®、AXIS Camera Application Platformなど、ソフトウェア統合のためのオープンAPI(仕様についてはaxis.comを参照)

イベントマネジメント

カメラと統合して、ビデオ管理システム(VMS)へのイベントストリーミングのほか、I/O制御、通知、エッジストレージなどのイベントアクションが可能です。ONVIF® motion alarm event(参照: ONVIF Service Imaging Specification)

メタデータ

選択した1つのビデオ解像度でのアラームオーバーレイ。個別モードでは、オーバーレイはアラームをトリガーした物体を境界ボックスで囲みます。グループモードでは、オーバーレイは対象範囲をハイライトします。